

6月議会報告

新型コロナ危機のもと

小中学校統廃合の検討は中止を

6月議会公共施設再編特別委員会で23日、砂田委員は新型コロナウイルス危機のもと、3密を避けるためにも20人学級が求められる。小中学校統廃合の検討を一旦中止したらどうかと主張しました。市は統廃合審議会の答申を受けて検討を続ける考えを繰り返しました。



いまこそ20人学級を

「小規模校が学習に望ましい」との研究結果

【砂田委員】 小中学校統廃合の「メリット」なるものをいくつかあげられたが、それを証明する教育学上の科学的データは一つもない。反対に小規模校の方が学習に望ましいという研究成果がある。岩手県で、複式学級の方は学力が高いという調査結果もある。切磋琢磨できるなどという伝聞に惑わされず、実際に効果があるのは何か、見極めることが必要だ。

小さな学校、小さなクラスが世界の流れた。100人くらいの学校(東部小学校がこれに該当)が一番よいと南砺市教育長が語っていたが、ユネスコ文化統計年鑑のデータでも、OECD加盟国のほとんどが1校あたり100人から200人



統廃合すすめる国の狙い、教育予算の削減

財務省は学校規模の適正化調査をした。統廃合によって1校12から18クラスの学校が中学校で2倍に、小学校で1.3倍に増えたので、財務省は、小中学校合計で約170億円の効率化ができた成果を強調している。これは子どもたちの教育をよくすることが目的ではなく、財務省が教育に掛ける予算の削減を最大の狙いにしてきたのだということを示すものだ。

原爆写真展の学校巡回

【砂田市議】 広島市平和記念式典への生徒代表派遣は、修学旅行で被爆地を訪問しているので、教員の負担軽減のために隔年実施とした。市長は、平和教育の重要性は十分に認識されているが、修学旅行が中止で、それに代わる平和教育が必要でないか。もちろん各々学校での自主的な取り組みとすべきだが、たとえば、原爆写真展を、各学校に巡回させ、その機会に

平和教育に取り組むにはどうか。

【桜井市長】 修学旅行の代わりとなる平和教育の実施については、提案いただいた原爆写真展の巡回をして平和教育の実施を、小中学校校長会で私から提案させていただきたい。

暑さ対策

特別教室、給食配膳室に大型冷風扇

【砂田市議】 特別教室とともに、

各々学校の給食配膳室の暑さ対策に、大型冷風扇の追加を検討できないか。



【教育委員会事務局長】 特別教室については夏休みまでの授業実施に間に合うよう緊急的に大型冷風扇での対応を検討している。

配膳室に空調設備があるのは石動小学校だけである。他の学校でも、大型冷風扇での対応を検討している。

核兵器禁止条約の推進を国民平和大行進がアピール



平和行進が6月14日、石川県へ引き継がれた

核兵器禁止条約を批准した国が40カ国で、発効まで後10カ国となりました。被爆国日本も批准することを求めて、今年も国民平和大行進が実施されました(上写真)。

今年も、新型コロナウイルスの感染防止を第一に考え、例年のように隊列をつくるの沿道の皆さんに訴える行進は自粛し、すべての自治体を代表団の訪問で結び、核兵器をなくせの被爆者の願いを訴えるやり方になりました。6月4日に朝日町役場前を出発し、8日は高岡市や射水市、氷見市、9日は砺波市、南砺市を訪問し、小矢部市へ到着しました。このあと富山→ヒロシマコースのリレー旗は6月14日に石川県へ引き継がれました。

環境センターにカーブミラー設置

読者の訴えに砂田市議動く

庭木剪定枝などの持ち込みが増えたため、小矢部市環境センター(矢水町678-2)の入り口付近が混雑しています。ある「ぶんぶん赤旗」読者の方から、矢水町方面(南側)から環境センターへ進入しようとしたら、計量台から下りて道路に出ようとする自動車が見えず、ぶつかりそうになったとの訴えが寄せられました。相談を受けた砂田市議はさっそく担当課で、入り口にカーブミラーを設置するよう申し入れていました。それがこのほど設置されました(下写真)。

環境センターを通り越しUターンして矢水町方面から進入するように協力をお願いします。



環境センター入口に設置されたカーブミラーを矢水町方面から見る